

授業科目(ナンバリング)	語学研修B(中・コ・仏語) (CA129)			担当教員	国際観光学科専任教員		
展開方法	講義・実習	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・集中	必修・選択	選択必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>本科目は、実践的な体験の中で、外国語を集中的に学ぶことを目的とした実習型の授業である。言語を学び、身に付けるためには、文化的、社会的背景への理解も必要である。座学で学んだ語学と理論を、実践の場を通して、有機的に結合させ、語学力を伸ばす。また、自分で課題を設定し、その課題を達成するよう努力し、研修日誌にまとめることができるようになることが本授業のねらいである。</p>							④⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	研修に設定された外国語を用いて、身近な話題や経験について、自らの考えを表現することができる。				・観察法による評価 ・発表	30% 20%	
協働・課題解決力	研修に参加する上での課題を適切に設定し、他の学生やスタッフと協力しながら、自分の設定した課題を達成することができる。				・観察法による評価 ・研修日誌	10% 10%	
多様性理解力	研修先の異なる環境の中で、異文化の理解に努め、意欲を持って学修に取り組むことができる。				・観察法による評価 ・研修日誌	10% 20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>研修日誌、設定課題への取り組み状況、研修中の学習態度・意欲などから総合的に評価する。研修中の観察法による評価については、適宜フィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>担当教員の定めたテーマによって、研修プログラムが設定される。プログラム内容の詳細については、別途配布されるプログラム概要を参照すること。 6時間(3回以上)の事前・事後学習と語学学習を主体とした研修(72時間以上:3泊4日以上)により構成される。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書:担当教員の指示による。 参考書:担当教員の指示による。 指定図書:担当教員の指示による。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を十分理解して、履修選択を行うこと。</li> <li>・事前学習には必ず出席すること。</li> <li>・団体行動であることに注意し、担当教員の指示に従うこと。他の学生の迷惑になる行為や、授業目的に逸脱するような行為は慎んでほしい。</li> <li>・別途研修費を納めること。このうち履修登録時に申請金として国内2万円、海外4万円を納める必要がある。なお、自己都合等の理由により研修を辞退した場合、申請金は原則返金されないので注意して履修すること。</li> </ul> <p>※研修中の体調管理には留意し、既往症がある場合には必ず事前に申し出ること。</p>							